

29 介護費用の他に、医療費はいくらかかる？

Q

私には持病があります。自身に経済的な余裕がないので、長期の入院になったときや入院と介護が重なったときに家族に負担がかからないか気になります。[70代]



A

高齢者は入院する機会も多く、医療費も高額になる場合があります。医療費や介護費を抑えることができる制度もあるため確認してみましょう。



高齢者の医療費はいくらかかるの？

75歳以上の高齢者の場合、年間平均7.4万円*の医療費がかかるとされています(2021年時点)。医療費以外にも公的医療保険制度の対象外の費用(入院時の差額ベッド代や食事代等)がかかるため、想定以上に費用がかかる場合があることに注意しましょう。

※厚生労働省「医療保険に関する基礎資料」より。年齢階級別の1人当たり患者負担にもとづく。

高額療養費制度について

医療機関や薬局の窓口での自己負担額には上限額(月間)が定められており、その上限額を超過した分が払い戻される「高額療養費制度」があります。また、民間の医療保険・共済への加入により、医療費の負担を軽減することもできます。

例 65歳(月収30万円)の場合で、
窓口で支払った金額が30万円
⇒自己負担額は約9万円となるため、
差額の21万円が払い戻されます。

※上限額は年齢や世帯収入によって異なります。
※2024年11月1日現在の制度内容にもとづいて算出しています。

高額医療・高額介護合算療養費制度について

医療保険と介護保険を合算した自己負担額にも上限額(年間)が設けられており、その上限額を超過した分が払い戻される「高額医療・高額介護合算療養費制度」もあります。高齢者は医療と介護の両方のサービスを受けている世帯が多く、どうしても費用が高額になってしまう傾向があるので確認しておきましょう。

例 75歳(年収200万円)の場合で、
自己負担した年間の医療費が30万円、
介護費が50万円
⇒医療費と介護費を合算した自己負担限度額は56万円と設定されており、
80万円-56万円=24万円が払い戻されます。

※自己負担限度額は年齢や世帯収入によって異なります。
※2024年11月1日現在の制度内容にもとづいて算出しています。